

『十万頌般若』第 15 章のラサ写本と九大写本を中心とする比較研究

DENIYAYE Paññāloka

1. 研究目的

本論文では『十万頌般若經』第 2 カンダ第 15 章の梵文貝葉写本の比較研究を行う。その際、蔵訳と木村校訂本を参照して読む。貝葉写本に基づき本經の第 15 章の再校訂を目指す。

2. 研究資料

『十万頌般若經』第 2 カンダの第 15 章を研究するにあたって、貝葉写本の【1】ラサ写本と【2】九大写本を吟味する。【3】蔵訳¹⁾として中華大蔵經版、*Shes rab kyi pha rol tu phyin pa stong phrag brgya pa*, 中華大蔵經——第 17 卷 ('bum) と第 18 卷 ('bum) を参照する。そのほか、2009 年、2010 年に出版された【4】木村校訂本 (Ed.) を参照する。

2. 1. 梵文貝葉写本

『十万頌般若經』第 2 カンダの貝葉写本 2 本は「ラサ写本」(L)²⁾と「九大写本」(Q)³⁾と呼ぶ。「L」と「Q」は、ネパール系紙写本⁴⁾の伝承より古い伝承を代表しており、どちらも蔵訳と共通する読みを保つ⁵⁾。「ラサ写本」は第 12 章から第 16 章の途中までの短い写本であるが、「九大写本」は『十万頌般若經』第 2 カンダの全て (第 12 章から第 25 章まで) を保つ。ただし、「九大写本」では、第 12 章から第 16 章にあたる部分では、多数の葉が失われている。本論文において課題とする第 15 章は「ラサ写本」で Ha197b3 から Ha226b4 までとなる。「九大写本」では 15 章の内容にあたる多数の葉が失われており、その内容は木村校訂本の第 15 章の前半にあたる (Ed. 1.8–19.28)。その後の、Ha221a1 から 221b5 までは残されている (Ed. 19.28–21.5)。その後の、Ha222 から 224 までは抜けている (Ed. 21.5–26.15)。最後に、Ha225a1 から 242a2 までは残されている (Ed. 26.15–56.10)。

2.2. 蔵訳

『十万頌般若経』第2カンダの第15章の蔵訳は、中華大蔵経版(T)で、第17巻('bum) p. 807 から第18巻('bum) p. 92 までとなる。チベットの伝承では『十万頌般若経』の各章に対して独特な分け方があるようであり、具体的な事を言えば、梵文バージョンである4つのカンダの分け方が蔵訳では確認できない。ただ、内容的には第15章の蔵訳が梵文バージョンと一致していることが確認できる。『十万頌般若経』の研究や、木村校訂本の改正にあたって、貝葉写本とEd.の不完全な箇所の確認にあたるのは蔵訳である。

2.3. 木村校訂本

木村校訂本では、第15章が *Śatasāhasrikā Prajñāpāramitā* II-3 の前半にあたる⁶⁾。本校訂本は「ラサ写本」・「京大写本」・「高岡コレクション写本」(PH 2-2 の1)・「東大写本2」・の梵文写本4本と蔵訳北京版と漢訳に基づいているようである⁷⁾。

3. 本研究の方法

貝葉「L」と「Q」の第15章の文・句・語を比較して調べる。また、その読みは蔵訳で確認する。貝葉写本の読みの相違点や間違っている点を記録する。以上の検討の結果をまとめて、「L」と「Q」の貝葉写本の位置について論じる。

4. 「L」と「Q」の比較研究

『十万頌般若経』第2カンダの第15章にあたる「L」と「Q」バージョンを比較して調べた。貝葉写本伝承の特性を確認できるように、以下に例を挙げる。

(1) Ed. 1.14 nirmitopamā **mama** devaputrā dhārmaśravaṇikā eṣṭavyāḥ] L, confirmed by Tib. **bdag la** chos nyan pa yang sprul pa lta bur btsal bar bya ste (T 17, 807.12): nirmitopamā **me** devaputrā dhārmaśravaṇikā Ed. コメント: 蔵訳はLとEd.を支持する。意味的にはどちらも正しい。

(2) Ed. 1.14 kimcit] Ed., confirmed by Tib. ci (T 17, 807.13): kaścit L. コメント: 蔵訳はEd.を支持する。意味的にもLは正しくない。

(3) Ed. 1.15 atha **te** devaputrā] L, confirmed by Tib. de nas lha'i bu de dag gis (T 17, 807.14): atha **khalu** devaputrā Ed. コメント: 蔵訳はLを支持する。Ed.も間違いと言えない。

(4) Ed. 2. 18 nāma rūpam api svapnopamaṃ māyopamaṃ] Ed., cf. Tib. mying dang gzugs kyang rmyi lam lta bu sgyu ma lta bu'o (T 17, 809.11): rep. L. コメント: 蔵訳はEd.を支持する。Lはこの句を繰り返す。Lは正しくない。

(170) 『十万頌般若』第15章のラサ写本と九大写本を中心とする比較研究 (DENIYAYE)

(5) Ed. 3.24 samyaksambodhir api **devaputra** svapnopamā māyopamā] L, confirmed by Tib. **lha'i bu dag** yang dag par rdzogs pa'i byang chub kyang rmyi lam lta bu sgyu ma lta bu' o (T 17, 811.16): samyaksambodhir api svapnopamā Ed. コメント: 蔵訳は L を支持する. Ed. は devaputra を欠く. Ed. は正しくない.

(6) Ed. 3.25 bodhir api **bhadanta** subhūte] L, confirmed by Tib. **btsun pa** rab 'byor (T 17, 811.18). bodhir api subhūte Ed. コメント: 蔵訳は L を支持する. Ed. は bhadanta を欠く. Ed. は正しくない.

(7) Ed. 4.6 pratyēṣitāro **bhaviṣyanti**] L, confirmed by Tib. 'di la su dag yid ches par 'gyur (T 17, 812.12): bhavanti Ed. コメント: 蔵訳は L を支持する. Ed. は正しくない.

(8) Ed. 8.28 na sūnyatām cakṣurvijñānam iti] L, confirmed by Tib. stong pa nyid **myig gi rnam par shes pa** zhes bya bar (T 17, 822.11): na sūnyatām manovijñānam iti Ed. コメント: 蔵訳は L を支持する. Ed. は正しくない.

(9) Ed. 13.29 vedanām anirodha iti] L, confirmed by Tib. tshor ba 'gag pa myed ces (T 17, 834.8): vedanām anutpāda iti Ed. コメント: 蔵訳は L を支持する. Ed. は正しくない.

(10) Ed. 13.25 nānirodham manañ°] L, confirmed by Tib. 'gag pa myed pa yid kyi (T 17, 834.9): nānutpādam manañ° Ed. コメント: 蔵訳は L を支持する. Ed. は正しくない.

(11) Ed. 14.18 nābdhātum sūnya iti] Ed., confirmed by Tib. chu'i kham **stong** zhes (T 17, 835.20): nābdhātum sūnyatā iti L. コメント: 蔵訳は Ed. を支持する. L は正しくない.

(12) Ed. 21.1 **atyanta**sūnyateti] LQ, confirmed by Tib. mtha' las 'das pa stong pa (T 18, 8.18): atyanaśūnyateti Ed. コメント: 蔵訳は L と Q を支持する. Ed. はタイプミスであろう.

(13) Ed. 24.1 **atyanta**sūnyateti] L, cf. (T 18, 16.6): atyanaśūnyateti Ed. コメント: 蔵訳は L を支持する. Ed. はタイプミスであろう.

(14) Ed. 33.16 pratyekabodhip] LQ, cf. (T 18, 40.9): pratyekabodhip Ed. コメント: 蔵訳は L と Q を支持する. Ed. はタイプミスであろう.

(15) Ed. 36.24 upadiśyante] Q (= Ed.), confirmed by Tib. rnam par rtse ba dag kyang bstan te (T 18, 47.20): upadiṣṭāni L. コメント: 蔵訳は Q と Ed. を支持する. L は正しくない.

(16) Ed. 42.7 caran] LQ, confirmed by Tib. spyod cing (T 18, 58.19): caranta Ed. コメント: 蔵訳は L と Q を支持する. Ed. も間違いと言えない.

『十万頌般若』第15章のラサ写本と九大写本を中心とする比較研究 (DENYAYE) (171)

(17) Ed. 42.8 bhaviṣyanti] LQ, confirmed by Tib. can du yang 'gyur ro (T 18, 58.21): bhavanti Ed. コメント: 蔵訳は L と Q を支持する. Ed. は正しくない.

(18) Ed. 43.3 bhaviṣyanti] LQ, confirmed by Tib. can du yang 'gyur ro (T 18, 60.21): bhavanti Ed. コメント: 蔵訳は L と Q を支持する. Ed. は正しくない.

(19) Ed. 43.31 caran] LQ, confirmed by Tib. spyod cing (T 18, 62.20): caranta Ed. コメント: 蔵訳は L と Q を支持する. Ed. も間違いと言えない.

(20) Ed. 16.8 vijñānaṃ iti vikalpayiṣyanti] Ed., confirmed by Tib. mnam par shes pa zhes bya bar mnam par rtog par myi 'gyur ro (T 17, 839.15): vijñānaṃ iti vijñānaṃ iti L. コメント: 蔵訳は Ed. を支持する. L は正しくない.

5. 研究結果

5.1. ラサ写本 (L) について

『十万頌般若経』の第15章について検討したところ、「L」においては、第12章から第14章までのように文が欠けている箇所がない。「Q」が欠けている箇所もすべて「L」で読める。ただ、「L」にはある箇所の句を繰り返す問題がある〔例 (4)・(13) 等〕。古い貝葉写本である「L」は「Q」と読みが多く共通しており〔例 (12)・(14)・(15) 等〕、ネパール系紙写本より正確な読みを保っている。Ed. と比較して読むと「L」の読みはチベット訳と共通している箇所が多い〔例 (3)・(6)・(7)・(8)〕。また、「L」と「Q」が異なる読みも少なくない〔例 (16)・(18)・(19) 等〕。

5.2. 九大写本 (Q) について

「Q」においては、以前の章のように第15章もかなり長い文が欠けている箇所がある〔例 (20)〕。「L」と同様に古い貝葉写本となる「Q」の読みも、ネパール系紙写本より正確な読みを保っている〔例 (26)〕。「Q」の読みもチベット訳と共通している箇所が多い。また、「Q」が「L」と異なっている読みもある〔例 (16)・(18)・(19) 等〕。ここで検討した『十万頌般若経』の第15章において、「Q」は「L」と違って、欠損箇所や解説不可能な箇所が多い。

本論文で、「L」と「Q」を調査した結果、この二つの貝葉写本の読みの伝承は『十万頌般若経』の資料の中で、古いものであることが分かり、今後の『十万頌般若経』の研究や、木村校訂本の改正のために非常に有益であると思われる。

(172) 『十万頌般若』第15章のラサ写本と九大写本を中心とする比較研究 (DENIYAYE)

5.3. 木村校訂本について

『十万頌般若経』の第15章について検討したところ、木村校訂本はネパール系紙写本に基づいていることが多いが、「L」の読みとも共通している箇所が確認された[例(1)・(2)・(3)・(5)等]。新しいネパール系の紙写本の読みのまま載っている箇所も少なくはない[例(11)・(12)・(13)等]。また、セクションごと欠けている個所や、木村校訂本独特の相違点も確認できる。例— na sūnyatām] na sūnyam Ed. 5.32; cakṣurvijñāṇam] manovijñāṇam Ed. 8.28; śrotrasaṃsparsājāvedanām iti] śrotrasaṃsparsājāvedaneti iti Ed. 12.25; śrotrasaṃsparsājāvedanām iti] śrotrasaṃsparsājāvedaneti iti Ed. 13.3; animittam] aimittam Ed. 16.30; animittam] aimittam Ed. 16.32; viviktatā] viiviktaṃ Ed. 18.21; atyantaśūnyateti] atyanaśūnyateti Ed. 21.1; atyantaśūnyateti] atyanaśūnyateti Ed. 21.26; atyantaśūnyateti] atyanaśūnyateti Ed. 22.18; atyantaśūnyateti] atyanaśūnyateti Ed. 23.10.

-
- 1) 第15章の蔵訳は、中華大蔵経版で、第17巻('bum) p. 807から始まる。 2) Deniyaye Paññāloka [2011], pp. 1164ff. 3) 池田邦俊 [1995], pp. 887ff. 4) Kimura [2009], pp. i ff. 5) Deniyaye Paññāloka [2012], pp. 848ff. 6) *Śatasāhasrikā Prajñāpāramitā*, II-3, pp. 1–56. 7) Kimura [2009], pp. i–vii.

〈参考文献〉

- Deniyaye Paññāloka [2011]. "On the Lhasa Manuscript of *Śatasāhasrikā Prajñāpāramitā*." *JIBS* 59, no. 3, pp. (90)–(94).
 ——— [2012]. 「『十万頌般若』第14天王品の、ラサ写本と九大写本を中心とする比較研究」『印度学仏教学研究』61, no. 2, pp. 211–215.
 池田邦俊 [1995]. 「九州大学寄託『十万頌般若経』写本研究」『印度学仏教学研究』43, no. 2, pp. (166)–(169).
 木村高尉 [2009–2010]. *Śatasāhasrikā Prajñāpāramitā*. II, 1–3. Tokyo: Sankibo Busshorin.

〈キーワード〉 *Śatasāhasrikā Prajñāpāramitā*, 『十万頌般若経』, 貝葉写本, ラサ写本, 九大写本

(スリランカケラニヤ大学講師)